



私を救って  
くれた人へ、  
恩返しをする

赤堀 <sup>みい</sup> 未衣さん (花水木)

20年という月日は私にとって長いようで短く、想像よりもはるかに残酷で儂い（はかな）いものでした。何度も自分を見失い、明日が来なければいいと願うばかりの毎日でしたが、私の周りには強く温かい人たちであふれていました。もらった言葉はいつだって私を抱きしめ、深淵（しんえん）から救い上げてくれました。大嫌いな自分に希望を持てるようになり、信じてみたいと思えるようになりました。私は今幸せです。未来を諦めなくてよかった。私には夢があります。私と関わってくれた全ての人に今度は私から恩返しをすること、そして、もらった恩を次の人に渡す恩送りをしていくことです。

# はたちの 決意

式典で、「はたちの決意」を読み上げた3人。共に歩んできた仲間が見守る中、新たな決意や誓いを胸に壇上へ登り、今後の目標や夢を力強く述べました。また、会場で出会った若者たちにも自身の決意と共にカメラの前に立つてもらいました。

